

議会 議云 だより



鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2016年(平成28年)6月1日

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

目次

平成28年第1回定例会の主な審査状況	(2)
平成28年第1回定例会の提出議案と議決結果	(3)
請願の処理、意見書	(4)
平成28年第1回臨時会	(4)
委員会審査から	(5)
一般質問	(6)～(12)
平成28年第2回定例会の日程	(12)
予算審査	(13)～(15)
議案第41号の投票結果	(15)
議会活動、市民の広場	(16)

表紙写真を募集しています。詳しくは最終面へ



市内の新入生・新入園児のみなさんに、黄色い帽子が贈られました。

写真：堀江南小学校・堀江南幼稚園（平成28年4月11日・12日）

No.95

平成28年第1回定例会の主な審査状況

2月17日(水) 第1回定例会 開会 予算決算委員会

- 市長より市政についての所信が表明され、平成28年度一般会計予算案など議案30件、報告1件が提出されました。
- 議案12件を予算決算委員会に付託しました。
- 平成28年度当初予算にかかる議案12件の全体説明を受けました。

2月23日(火) 一般質問

- 5会派による代表質問を行いました。

2月24日(水) 一般質問

- 議員4名による個人質問を行いました。

2月25日(木) 一般質問／予算決算委員会

- 議員2名による個人質問を行いました。
- 市長より平成27年度一般会計補正予算案など議案10件が提出されました。
- 議案28件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。
- 平成27年度補正予算にかかる議案10件の全体説明を受けました。



2月26日(金) 総務文教委員会

- 付託された議案11件について審査の結果、議案はいずれも可決すべきと決しました。
- その他として報告2件について担当課より説明を受けるとともに、第六次鳴門市総合計画実施計画（平成28年度～平成30年度）に関する質疑を行いました。

2月29日(月) 生活福祉委員会

- 付託された議案5件および継続審査となっていた請願5件について審査の結果、議案はいずれも可決、請願2件は採択、1件は不採択、2件は継続審査すべきと決しました。
- その他として報告1件について担当課より説明を受けるとともに、第六次鳴門市総合計画実施計画（平成28年度～平成30年度）に関する質疑を行いました。

3月1日(火) 産業建設委員会

- 付託された議案2件について審査の結果、議案はいずれも可決すべきと決しました。また、報告1件がありました。
- その他として報告3件について担当課より説明を受けるとともに、第六次鳴門市総合計画実施計画（平成28年度～平成30年度）に関する質疑を行いました。
- ボートレース鳴門新スタンド建設現場の視察を行いました。



3月2日(水) 予算決算委員会全体質疑

- 企画総務部、市民環境部、健康福祉部等の予算案について、議長を除く全議員で質疑を行いました。

3月3日(木) 予算決算委員会全体質疑

- 経済建設部、教育委員会、企業局、消防本部等の予算案について、議長を除く全議員で質疑を行いました。

3月4日(金) 予算決算委員会 第1分科会

- 企画総務部、消防本部、教育委員会等の予算案について審査を行いました。

3月7日(月) 予算決算委員会 第2分科会

- 市民環境部、健康福祉部の予算案について審査を行いました。

3月8日(火) 予算決算委員会 第3分科会

- 経済建設部、企業局等の予算案について審査を行いました。

3月14日(月) 予算決算委員会 産業建設委員会

- 各分科会から報告を受け、採決を行い、いずれも可決すべきと決しました。
- 「鳴門市中小企業振興基本条例素案のパブリックコメント」について質疑をしました。

3月16日(水) 第1回定例会 閉会

- 第1回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受け、採決を行った結果、議案40件はいずれも可決、また、請願3件については不採択としました。
- 議員より意見書3件が提案され、1件については可決、2件については否決されました。

《 平成28年 第1回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第1号	平成28年度鳴門市一般会計予算		
議案第2号	平成28年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算		
議案第3号	平成28年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算		
議案第4号	平成28年度鳴門市介護保険事業特別会計予算		
議案第5号	平成28年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算		
議案第6号	平成28年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計予算		
議案第7号	平成28年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		
議案第8号	平成28年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算		
議案第9号	平成28年度鳴門市給与費等管理特別会計予算		
議案第10号	平成28年度鳴門市公債費管理特別会計予算		
議案第11号	平成28年度鳴門市水道事業会計予算		
議案第12号	平成28年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算	原案可決	予算決算
議案第31号	平成27年度鳴門市一般会計補正予算(第4号)		
議案第32号	平成27年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第33号	平成27年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		
議案第34号	平成27年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第35号	平成27年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第36号	平成27年度鳴門市光熱水費等支出特別会計補正予算(第1号)		
議案第37号	平成27年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算(第1号)		
議案第38号	平成27年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算(第1号)		
議案第39号	平成27年度鳴門市水道事業会計補正予算(第2号)		
議案第40号	平成27年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)		
議案第13号	鳴門市行政不服審査法施行条例の制定について		
議案第14号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		
議案第15号	鳴門市職員諸給与条例等の一部改正について		
議案第16号	鳴門市単純労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について		
議案第17号	鳴門市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について		
議案第18号	鳴門市職員の退職管理に関する条例の制定について	原案可決	総務文教
議案第19号	鳴門市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等条例の一部改正について		
議案第20号	鳴門市特別会計設置条例の一部改正について		
議案第21号	鳴門市ボートレース鳴門まちづくり基金条例の制定について		
議案第22号	鳴門市消防団条例の制定について		
議案第23号	鳴門市火災予防条例の一部改正について		
議案第24号	鳴門市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について		
議案第25号	鳴門市国民健康保険条例の一部改正について		
議案第26号	鳴門市介護保険条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
議案第27号	鳴門市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について		
議案第28号	鳴門市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		
議案第29号	鳴門市モーターボート競走事業基金条例の制定について		
議案第30号	松茂町ほか二町競艇事業組合と鳴門市との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の受託に係る協議について	原案可決	産業建設
報告第1号	専決処分について(損害賠償の額の決定)	報告	
意 第1号	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書	否 決	
意 第2号	介護報酬改善と介護従事者の待遇改善施策の拡充に関する意見書	否 決	生活福祉
意 第3号	消費者庁・国民生活センター等の徳島移転の実現を求める意見書	原案可決	

請願の処理

請願番号	案 件	審議結果	所管の委員会
請願第14号	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める請願		
請願第15号	介護報酬改善と介護従事者の待遇改善施策の拡充に関する請願	不採択	生活福祉
請願第17号	「最低保障年金制度の実現を国に求める意見書」の採択についての請願		

「請願第16号 国庫負担を増額し、国民健康保険税(料)の引き下げを求める請願」

「請願第18号 さらなる年金削減の仕組み「マクロ経済スライド」の廃止を国に求める意見書採択についての請願」

については、委員会の審査において継続審査となりました。平成28年第2回定例会で、再度審査を行う予定です。

●定例会で可決された意見書は各関係機関へ送付しました●

消費者庁・国民生活センター等の徳島移転の実現を求める意見書

人口の急減と東京一極集中という、かつてない危機を克服し、日本の明るい未来を切り開いていくためには、地方への新しい人の流れづくりへの突破口となる政府関係機関の地方移転を推進することが不可欠である。

徳島県においては、人口減少の克服と東京一極集中の是正に一刻の猶予も許されないと強い危機感の下、「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」に盛り込まれた具体的な実践策をスピード感をもって推進している。

その一環として、徳島県では、全国モデルとなる消費者行政を展開する強みを生かすとともに、徳島県が誇る全国屈指の光プロードバンド環境を活用し距離的障壁を克服することにより、消費者目線、現場主義にたった政策企画を具現化するため、消費者庁・国民生活センター等の徳島移転を提案している。

こうした状況の下、昨年12月14日には、河野内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)から、「ICTの活用により東京都の距離的障壁がクリアできる」との考えが示されるとともに、徳島県の誘致提案に対し、「非常に可能性のある提案」との御発言をいただいているところである。

さらには、本年4月以降において、国民生活センターの教育研修と商品テストの徳島への試験移転について提案いただいた

と伺っており、本市としても鳴門合同庁舎を拠点に実施に至れば、総合戦略を加速させる提案として、その実現を大いに期待しているところである。

去る2月12日には、徳島県内の産学官金労の代表者で構成する「消費者庁・国民生活センター等」徳島誘致協議会が設立され、万全な受入体制の構築をはじめ、県を挙げて取り組む行動宣言が採択されたところである。

本市においては、「鳴門市総合戦略(なると未来づくり総合戦略)」を策定し、政府関係機関の誘致を施策に掲げ、徳島県と連携協力しながら、実現に向けた取り組みを進めている。

よって、国においては、東京圏から地方への新しい人の流れを創出していただき、本市の地方創生や地域経済の活性化につながるよう、早期に消費者庁・国民生活センター等の徳島移転を実現されることを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月16日

鳴門市議会

《 平成28年 第1回臨時会の主な審査状況、提出議案・議決結果 》

4月14日(木) 第1回臨時会 開会

- 市長より議案1件が提出され、議案説明を受け、特別委員会に付託しました。

4月14日(木)・15日(金) 損害賠償請求権等放棄審査特別委員会

- 委員長、副委員長を選任した後、付託された議案1件を審査の結果、可決すべきと決しました。

4月19日(火) 第1回臨時会 閉会

- 特別委員会委員長より審査報告を受け、討論が行われました。
- 議案第41号については記名投票の結果、可決されました。
- 市長より議案第42号が追加議案として提出され、議案説明が行われました。
- 議案第42号については可決されました。

議案番号	案 件	議決結果
議案第41号	権利の放棄について	原案可決
議案第42号	市長の給料の特例に関する条例の制定について	原案可決

※議案第41号についての討論の内容と記名投票の結果は15ページに掲載しています。

● ● ● ● 委員会審査から ● ● ● ●

● 議案第20号 鳴門市特別会計設置条例の一部改正について

(説明) 鳴門市産業団地開発事業特別会計を廃止するため、所要の改正を行うものである。

(質疑) 特別会計の設置にかかった費用及び市債の償還額は。

(説明) 鳴門市産業団地開発事業特別会計は平成13年に設置され、償還がはじまった平成14年度から27年度までの市債の返済額として約12億3500万円が執行された。

平成27年度において全ての償還を終えたため、特別会計を設置する必要性がなくなり、会計を閉じるものである。

(質疑) 特別会計設置に係る投資額に対しての収入額はいくらか。

(説明) 売却収入と貸し付け収入を合わせて約4億3000万円ほどであり、貸し付け収入については、今後も借地を続ける間は概ね1000万円ほどの収入が続いていると想定している。

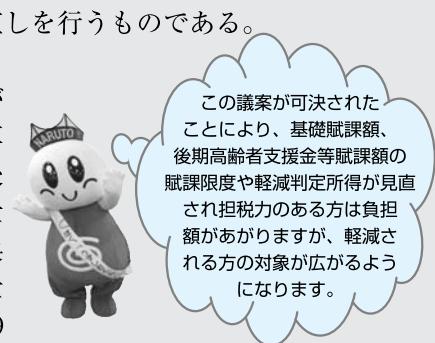
(意見) 今後企業誘致を行う場合は採算性を考慮して効率良く資金を運用していくべきではないか。

● 議案第25号 鳴門市国民健康保険条例の一部改正について

(説明) 国民健康保険料の賦課限度額や低所得者に対する国民健康保険料の軽減措置の対象となる世帯の軽減判定所得について、経済動向等を踏まえ、見直しを行うものである。

(質疑) この改正に伴う影響は。

(説明) 基礎賦課額、後期高齢者支援金等賦課額の賦課限度額がそれぞれ2万円上がることから平成27年度ベースで試算すると基礎賦課額の賦課限度額超過世帯は461世帯、後期高齢者支援金等賦課額の賦課限度額超過世帯では95世帯が対象となり、この世帯を平成28年度の制度に置き換えると、限度額が上がるため賦課限度額超過世帯が26世帯少なくなる。少なくなる額は基礎賦課額分では、939万円、後期高齢者支援金等賦課額分では217万円であり、この額を賦課限度額超過世帯で負担するようになる。また、軽減判定所得の引き上げに伴い、軽減の対象となる世帯が増え、2割軽減から5割軽減となる方は28世帯で65人が増え、対象外だった方が2割軽減になることについては13世帯24人が対象となり、これらの合計で158万円の軽減が見込まれる。



● 議案第29号 鳴門市モーターボート競走事業基金条例の制定について

(説明) モーターボート競走事業の円滑な運営等に資するため、新たに基金を設置するものである。

(質疑) 条文の第1条に、他市の同様の条例では、「モーターボート競走事業の健全な運営に資するため」という形で、モーターボート競走事業の運営を強調している場合があるが、鳴門市の場合は、「本市の健全財政の確立に資するため」という文言も入っているため、どのような理念で第1条の条文を作ったのか。

(説明) ポートレース事業の運営が健全でなければ、本市の財政の健全化に資することは出来ないということから、まず、ポートレース事業の収益を確保していき、また円滑な運営をし、それによって市の健全財政の確立に資するということで、併記している。

(意見) 理念が大切だと思うので、その思いを明確にし、すすめてほしい。

● 議案第1号 平成28年度鳴門市一般会計予算

(説明) 行財政改革の柱であるスーパー改革プラン2020の中期財政収支見通しや財政健全化の推進に留意しつつ、鳴門市総合戦略に定めた地方創生に向けた取り組みを進めるとともに、インバウンド対策や教育環境の向上、防災対策など、緊急性、必要性の高い施策と機動的かつ積極的に展開し、本市の将来を見据えたまちづくりとなるよう予算編成を行っており、予算規模としては、前年度当初予算と比較して12億2500万円の増の250億2500万円となっている。

(質疑) 平成28年度当初予算とスーパー改革プランで定めた平成28年度の計画額との差は。

(説明) スーパー改革プランについては普通会計をベースとして決算から想定して計画額を作成している。

(質疑) 平成28年度末の基金、市債残高の現時点における想定は。

(説明) 基金残高については23億3500万円程度、臨時財政対策債を除く市債残高について187億5200万円程度を想定している。

一般質問

代表質問

●叶井 克典(会派 郷土)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 平成28年度当初予算について
- (2) 政府機関の移転について
- (3) モーターボート競走事業に関する基金について

2. 教育行政について

- (1) 北灘町の学校施設について

3. モーターボート競走事業について

- (1) ボートレース鳴門のプレオープンについて



●藤田 茂男(会派 志)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 鳴門わかめの偽装対策について
- (2) コウノトリ定着に向けた対策について

2. 福祉行政について

- (1) 老人福祉センターについて



問 モーターボート競走事業に関する基金が二つ提案されているがその違いは。

います。



ボートに乗る子供(プレオープン)

●三津 良裕(会派 創心クラブ)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 平成28年度当初予算について
- (2) 鳴門市の財政状況について

2. 広域行政について

- (1) 広域行政の実態と方向性について
- (2) 地域の安全・防災対策について

3. 地域連携行政について

- (1) 職員の地域専属制について



●浜 盛幸(会派 公明党鳴門市議団)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 「なると第九」ブランド化プロジェクトについて
- (2) 消費税の軽減税率導入時の市の対応について

2. 福祉行政について

- (1) 内部障がい者の理解と支援について

●橋本 国勝(会派 有志会)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 平成28年度当初予算について
- (2) 財政運営について
- (3) 行政運営について

2. 鳴門市総合戦略の取り組みについて

- (1) 鳴門の魅力づくりについて
- (2) 鳴門市への移住支援について

3. モーターボート競走事業について

- (1) 経営状況と経営形態について
- (2) 平成28年度当初予算について
- (3) 今後の経営戦略について

《傍聴にお越しください》

・一般質問…議場

6月13日(月)～6月15日(水)

・常任委員会…委員会室

6月16日(木) 総務文教委員会

6月17日(金) 生活福祉委員会

6月20日(月) 産業建設委員会



会派
かない
郷土
叶井 克典
かつのり

問 平成28年度当初予算が提案されたが、財政健全化の方向に進んでいるのか。また、行政改革を進めるうえで本市の行政サービスをどのように考えているか。

答 事業の「選択と重点化」を図り、将来にわたって持続可能な行財政システムを確立していきたいと考えています。行政サービスについては経費に見合った効果があるのか、施策の目的に合致しているのかなど常に事業の点検・検証を実施していくきます。

問 政府関係機関の誘致に向けた取り組みは。

答 「国民生活センター」の教育研修業務の試験移転は、本市にとりましても「鳴門市総合戦略」を加速させる好機と捉え、県と連携しながら誘致に向けできる限り協力していくことを考えています。

問 北灘町の学校施設の活用方法の検討は。

答 地区自治振興会等に集まっているとき地域としての利活用の方向性の集約をお願いするとともに、三好市への先進地視察を行い活性化のために活用方法を検討していくきます。

問 ボートレース鳴門のリニューアルオーブン時のイベントは。

答 ボートレース鳴門プレオープンは、4月23日、24日の2日間で、市民参加型の「芸能祭」

は、4月23日、24日の2日間で、など親子連れで参加できるイベント等の開催を予定しています。

答 「ボートレース鳴門まちづくり基金」は、モーターボート競走事業の社会貢献広報事業としてこの基金を使い、「モーターボート競争事業基金」は、モーターボート全財政の確立に資するものです。

問 水道、消防、ごみ処理、火葬場、病院、鉄道、バスなど、鳴門市と他の市町村との広域行政的な連携について。



単独で運営される火葬場

問 地域では自治振興会を中心にもちづくりを進めている。地域の課題や問題点の解決のために公民館に地域と行政を結ぶパイプ役の地域専門職員の配置や担当職員制度の設置についての考えは。

答 引き続き調査研究が必要であると考えています。

期的には不採用に改革不採用で、2020年の財政健全化の数値目標を念頭に置き、中期財政収支見通しの計画範囲におさめる予算編成としました。

問 今後の経営戦略については。
答 場内外のイベント等を積極的に
行い本場来場者の増加を図るとともに、地域に根差した地域を応援
するボートレース鳴門を目指して
いきます。



会派 創心クラブ
三津 良裕

答 平成28年度当初予算の基本方針、最も重点を置いた課題と取り組みについて。また、歳出の件費、扶助費、公債費が歳入の自主財源をはるかに上まわり財政状況は楽観視出来ないが市債と公債費の状況認識は。

歳入の根幹である市税が減少傾向にあり社会保障費が年々増大しており、老朽化した公共施設の維持管理費や扶助費や公債費などの義務的経費が財政状況を圧迫している中で、人や企業に選ばれる活動力と魅力あふれるまちづくりを実現する予算としました。また、市債は大規模事業に発行する教育債、退職手当債などで40億円を超え、公債費は36億円を超える、実質公債費比率は地方債の発行が許可制に移行される18%に近づく可能性はありませんが、早期健全化基準には至らず、徐々に下がる見込みです。

答 市全体の水路・農業用水路の補修や保全対策について。
河川、水路は道路側溝の清掃や水路のしゅんせつを行ない対応しています。農業用水路の整備等は関係者と十分協議しながら進めたいと考えています。

問 短期的視点における対応と長期的な展望をどのように考え予算編成を行つたのか。

問モーターボート競走事業の収支見通しは。



会派 有志会

組みについて。また、歳出の人物費、扶助費、公債費が歳入の自主財源をはるかに上まわり財政状況は楽観視出来ないが市債と公債費の状況認識は。

答 歳入の根幹である市税が減少傾向にあり社会保険費が年々増大しております、老朽化した公共施設の維持管理費や扶助費や公債費などの義務的経費が財政状況を圧迫している中で、人や企業に選ばれる活力と魅力あふれるまちづくりを実

問 国道・県道に比べて補修や整備が遅れている市道の維持管理について。街路灯・防犯灯の設置基準とLED化について。

答 道路については各道路管理者が維持管理しており、街路灯の設置間隔は100メートル以上とされていますが暗くて危険な場所は地元自治会の防犯灯の設置を認めています。また、LEDタイプの防犯灯は平成29年度から設置を進めたと考へています。

答 太陽光発電施設の貸付け収入や
ふるさと納税制度の拡充による大
幅增收を図り、国
の平成27年度補正
予算、地方創生加
速化交付金、退職
手当債、財政調整
基金や減債基金な
どからの繰入金を
活用しました。

問 人口減少対策として鳴門市への移住支援にどのように取り組むのか。
答 移住相談窓口を商工政策課に設置し直接対応するほか、国や県の移住支援機関から情報を受け対応するとともに、空き家、空き店舗の実態調査を行い空き家バンクを整備します。

答ごみ処理場の広域的連携や火葬場の広域的運営は想定していないません。バス事業は自社路線が縮小すれば協定路線や地域バス路線との連携で市民の足であるバス事業を維持したいと考えています。

問 平成28年度当初予算編成にあ

答 将来的な教育、保育の需要見込みと供給制度の整合性、また地域の子育て支援事業の充実から子どもや保護者の最適な施設選択等を考え2カ所の私立保育所の認定子ども園移行を補助する事業を行います。

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定し作成しています。



会派 志
ふじた しげお

藤田 茂男
ふじた しげお

問 わかめ偽装問題について行政機関は地域産業が危機的状況になつていくという認識を持ち、関係団体と連携をしながら抜本的な解決策を検討していく必要があるのではないか。

答 一昨年度より科学的産地等判別分析検査を取り入れた再発防止策として、市内外の鳴門わかめ商品の検査を行い、検査結果について県との情報共有を図るなど連携を強化しているところであり、鳴門商工会議所や関係団体とともに、普及啓発に取り組んでまいりたいと考えています。

問 コウノトリ対応へのこれまでの周辺の市施設や民間施設を活用した臨時駐車場の確保、警備体制の強化を検討しており、今後とも関係機関等と連携しながらコウノトリの定着推進を図っていきます。エコファーマー等環境に配慮した



耐震化される老人福祉センター

農業生産の推進、コウノトリブランドの名称とロゴマークの募集、コウノトリブランドに認証制度の策定、産官学民連携による地域活性化策の検討、市公式ウェブサイト等を活用した情報発信など、コウノトリに関連するさまざまな施策に鋭意取り組んでいきます。

問 老人福祉センターの耐震化工事はどうのような内容、手順、スケジュールで行われるのか、また、利用者の方にどのような影響があるのか。

答 スケジュールとしてはすみやかに発注を行い7月に着工し8カ月程度で完了の予定であり、内容としてはブレースを設置し、外壁全面面を補修することとしています。利用者の方への影響としては、工事期間中は他の公共施設へ機能を移すことになりますが、関係する皆様には個別に概要をご説明し、おおむねご了解をいただいているところです。



会派 公明党鳴門市議団
はま せいこう

浜 盛幸
はま せいこう

問 「なると第九」ブランド化プロジェクトの目的として、当時板東俘虜収容所で織りなされた友愛精神を世界に向けて発信し、市民に郷土の宝として再認識していただく事について、またその効果としての音楽文化の長期的な振興発展について、さらに経済的波及効果をどのように図っていくのか。

答 ブランド化プロジェクト実施計画を昨年12月に策定し、その友愛精神、今まで続く日独交流の歴史など、様々な事業を産官学民の連携で推進しています。その取り組みの一つとして、市内の子ども達が、歴史的背景や道徳的事象を理解し歓喜の歌をドイツ語で歌えるように指導をしています。「第九」を郷土の誇りと感じ、本市への愛着が高まっていくよう取り組んでおり小学校において、ドイツ館周辺の体験学習や音楽劇の成果発表も行われました。さらに史実の語り手や第九演奏の担い手など次世代につなげ、世界平和の理念に基づく題材として、本市以外の教育現場でも活用促進していく

ます。一方、この史実の貴重な資料を保存し、国内外の多くの方に見ていただき、世界的重要性の認識を高めていく必要があり、徳島県と共同でユネスコ記憶遺産登録に取り組むこととし、有識者調査委員会を3月までに立ち上げ、ドイツとの連携を図りながら、こうした取り組みを通し歴史的文化遺産を末永く継承し友愛の精神とともに、平和の尊さを広く世界に向け発信していくことが本市の重要な役割と考えています。さらに今後5年間は東京五輪、パラリンピックやベートーベン誕生250年等、世界最大のスポーツ、文化の祭典等がつづくことから、本市として外国人観光客を含む交流人口の拡大につなげる大きなチャンスであり、本市の魅力や認知度をさらにつなげ、渦潮の世界遺産登録を含め、東西の観光拠点として、インバウンド事業の実施を含め、官民協働の事業連携実施で観光経済への相乗効果を高めるものと考えています。

ます。一方、この史実の貴重な資料を保存し、国内外の多くの方に見ていただき、世界的重要性の認識を高めていく必要があり、徳島県と共同でユネスコ記憶遺産登録に取り組むこととし、有識者調査委員会を3月までに立ち上げ、ドイツとの連携を図りながら、こうした取り組みを通し歴史的文化遺産を末永く継承し友愛の精神とともに、平和の尊さを広く世界に向け発信していくことが本市の重要な役割と考えています。さらに今後5年間は東京五輪、パラリンピックやベートーベン誕生250年等、世界最大のスポーツ、文化の祭典等がつづくことから、本市として外国人観光客を含む交流人口の拡大につなげる大きなチャンスであり、本市の魅力や認知度をさらにつなげ、渦潮の世界遺産登録を含め、東西の観光拠点として、インバウンド事業の実施を含め、官民協働の事業連携実施で観光経済への相乗効果を高めるものと考えています。



際立つベートーベン像(ドイツ館)

個 人 質 問

●川田 達司

1. 災害対策について

- (1) 洪水被害対策について
- (2) 被害対策への総合窓口設置について
- (3) 災害対策への予算措置について

2. 水道事業について

- (1) 清水場更新計画の全容について
- (2) 事業予算とその確保について
- (3) 水道料金の改定について

●松浦 富子

1. 福祉行政について

- (1) 子どもの貧困対策について
- (2) 子育て支援について



近年は異常気象による集中豪雨での浸水の発生頻度が高まっており、浸水被害対策は喫緊の課題であると捉え被害解消に向け地域の実情を十分精査し、関係住民のご意見、ご要望を取り入れ緊密度や重要性を考慮し、排水機場の排水ポンプや駆動エンジンなどの使用施設の更新や整備など各部局が連携し地元との協議を重ね、住民の不安解消に取り組んでいます。



今後ますます重要な排水施設

●宅川 靖次

1. 行財政改革について

- (1) 財政健全化に向けての取り組みについて
- (2) 長期的予算編成に向けての取り組みについて
- (3) 本市における保育のあり方にについて

2. 環境行政について

- (1) 公衆トイレの改善について

●林 勝義

1. モーターボート競走事業について

- (1) SGレースの経済効果と今後の取り組みについて

2. ボートレース鳴門の周辺事業について

- (1) まちづくりエリアについて

3. 鳴門わかめについて

- (1) ブランド回復に向けた取り組みについて

●平塚 保二

1. 観光行政について

- (1) 福永家住宅の活用について

2. 消費者行政について

- (1) 鳴門市における消費生活相談窓口について
- (2) 鳴門わかめの产地偽装について



●上田 公司

1. 公共施設について

- (1) 公共施設総合管理計画について
- (2) 公共施設のあり方について

2. 市民サービスについて

- (1) 火葬場について

3. 地域活性化について

- (1) 観光振興について



川田 達司
(創心クラブ)

近年多発する集中豪雨での浸水被害を未然防止するための対策と、地域の農業用排水機場の更新に対し早期に取り組むべきと考えるが、今後の対応は。

答 流れの確保や厳しい水道事業経営が続いている中、水道料金の改定について今後どのように対応していくのか。

答 清水場の更新については鳴門市水道ビジョン案における収支見通では、事業年度は平成31年度から平成35年度までの5ヶ年とし事業費は厚生労働省が公表している費用関数を用いて72億とし、国庫補助金や企業債さらには他会計からの借入金などを想定しています。

施設の規模については将来の水需要の見込みを踏まえダウンサイジングを行い、現在の用地を利用することを予定です。また、今後の水道事業を中長期的に考えると現在の枠組ではなく新たな取り組みも挑戦して行きたいと考えています。また、水道料金の見直しについては今年度新たに設置した「鳴門市水道事業審議会」などでご意見をいただきながら、改定の時期や改定率など料金改定に向けた検討を行っていきたいと考えています。

答 近年は異常気象による集中豪雨での浸水の発生頻度が高まっており、浸水被害対策は喫緊の課題であると捉え被害解消に向け地域の実情を十分精査し、関係住民のご意見、ご要望を取り入れ緊密度や重要性を考慮し、排水機場の排水ポンプや駆動エンジンなどの使用施設の更新や整備など各部局が連携し地元との協議を重ね、住民の不安解消に取り組んでいます。

答 清水場の更新については将来の水需要の見込みを踏まえダウンサイジングを行い、現在の用地を利用することを予定です。また、今後の水道事業を中長期的に考えると現在の枠組ではなく新たな取り組みも挑戦して行きたいと考えています。また、水道料金の見直しについては今年度新たに設置した「鳴門市水道事業審議会」などでご意見をいただきながら、改定の時期や改定率など料金改定に向けた検討を行っていきたいと考えています。

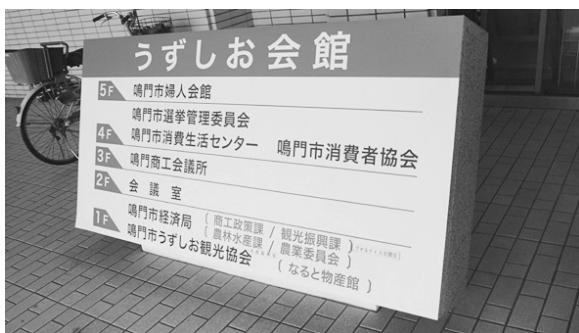
議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定し作成しています。

問 子ども・子育て支援制度において

答 限られた財源を効率的、効果的に配分し、必要な施策、事業を着実に推進するとともに、将来世代に過度な負担を残さないよう、財政運営の健全性や持続性を確保して柔軟に対応できる予算編成を行つていきます。

答 公衆トイレの改善に向けての今後の取り組みについて。

財の指定を受けています。現在、様々な方面からいただいたご意見等を踏まえた上、平成27年度、28年度の2カ年で、建造物や塩田等の文化財施設の修理や維持管理体制の方針等を定める福永家住宅保存活用計画を策定する予定であり、具体的な内容を検討するにあたり、塩田の復元整備や塩づくり体験施設を行っている兵庫県赤穂市、山口県防府市、香川県宇多津町などを参考により良いものになるよう取り組んでいきます。



鳴門市の消費者問題解決の要

問 法人市民税増額のため、積極的な企業誘致にどのような姿勢で取り組んでいるのか。

答 本年度予定されている創業の一
つとして、東京のＩＴ関連企業が
空き物件を活用して新規事業を立
ちあげることとなつており、本市
をはじめとした徳島の食材を都心
の飲食店などに発信する拠点づく
りとともに、シェアオフィスやサ
テライトオフィスのスペース設置
も予定しています。

答 公衆トイレの改善に向けての今後の取り組みについて。

財の指定を受けています。現在、様々な方面からいただいたご意見等を踏まえた上、平成27年度、28年度の2カ年で、建造物や塩田等の文化財施設の修理や維持管理体制の方針等を定める福永家住宅保存活用計画を策定する予定であり、具体的な内容を検討するにあたり、塩田の復元整備や塩づくり体験施設を行っている兵庫県赤穂市、山口県防府市、香川県宇多津町などを参考により良いものになるよう取り組んでいきます。

問 涸潮と製塩は鳴門市のシンボルである。現在、福永家住宅については、さまざまな市の部局が関与しているが放置されていると感じることができない。重要な文化財である福永家住宅の改修を行い塩づくりまで行う予定はあるか。

A black and white portrait of Taku Kawachi, a middle-aged man with glasses, wearing a suit and tie. He is looking slightly to his left.

て、全国的に認定こども園が大幅に増加する中、本市における認定こども園の方向性をどう見いだすのか。

平塚保二（ひらつか やすじ）

問消費生活問題の現状は。

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定し作成しています。

問 保育所内での事故防止等に向け、ビデオカメラの設置について国の

答 ひとり親家庭・多子世帯等自立応援プロジェクトに基づき生活を応援するため、第2第3子の児童扶養手当加算額の倍増、仕事を応援するための就職に有利な資格取得支援である高等就職訓練促進給付金の支給期間延長、対象資格の拡大等既存事業の充実、拡充を図るとともに、学びを応援する高等

学校卒業認定試験合格を目指す講座受講料の一部支給、生活保護受給世帯の中学生対象の無料学習支援を実施します。県策定の第2期はぐくみプランに歩調を合わせ、地域の実情に沿った支援の充実に努めます。



松浦富子
(公明党鳴門市議団)

補助制度の活用を含む市の取り組みについて。

答 現在、市内各保育所等の事業対象に向けて意向調査を実施し、子ども達の安全確保のため、国の補助制度を活用し、平成28年度内の事業実施について検討していきます。



ビデオカメラを保育所に設置し事故防止を検討する

問 病児・病後児保育事業に関連の予算を計上しているが、その具体的な内容は。

答 現在年間300人前後の子どもが利用していますが、平成28年4月からは病気の種類が異なる場合でも定員通りの3人の子どもを預かることができるようになり、対象年齢も小学6年生まで引き上げ、土曜日も開設し、利用料金については一日2000円で保護者が安心して就労できる環境整備に努めます。

問 病児・病後児保育事業に関連の予算を計上しているが、その具体的な内容は。

答 新スタンダードの本体工事もオープンに向け順調に進んでおり、日本一コンパクトなボートレース場として全国の施行者からも注目を集めているようですが、新スタンードの施設内容はどのようなものか。

答 ひとり親家庭解消に向け、内閣府が中心となり、ひとり親家庭等を応援する政策パッケージをとりまとめ推進に向けて官民一体となり取り組もうとしているが、鳴門市の今後のひとり親家庭への支援については。



林勝義
(郷土)

問 新スタンダードの本体工事もオープンに向け順調に進んでおり、日本一コンパクトなボートレース場として全国の施行者からも注目を集めているようですが、新スタンードの施設内容はどのようなものか。

答 今回の新施設は5つの柱となるコンセプトをもとに設計しました。1つ目は日本一小さいコンパクトなスタンド、2つ目は市民に親しまれ新たな活力を生み出す地域開放型・共存型スタンド、3つ目は上下移動が少なく人に優しく魅力あるレースを提供できるワンフロア型スタンド、4つ目は維持管理の負荷を抑えた低コスト・省エネ型スタンド、5つ目は自然災害に対応した防災型スタンドとしました。

問 病児・病後児保育事業に関連の予算を計上しているが、その具体的な内容は。

答 現在年間300人前後の子どもが利用していますが、平成28年4月からは病気の種類が異なる場合でも定員通りの3人の子どもを預かることができるようになり、対象年齢も小学6年生まで引き上げ、土曜日も開設し、利用料金については一日2000円で保護者が安心して就労できる環境整備に努めます。

問 ボートレース鳴門周辺整備事業としての温浴施設の概要はどのようなものか。

答 プロポーザルにおいては、施設全体は温浴施設を核とする複合型であり、温泉掘削を予定していくまでは一日2000円で保護者が安心して就労できる環境整備に努めます。

設け露天風呂、っぽ風呂、陶器風呂、サウナなどある施設に鳴門の渦潮をイメージしたものや鳴門わかめ、スダチ、塩、大谷焼を用いた地産地消のお風呂が提案されています。



温浴施設等の整備が予定されている

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定し作成しています。



上田
公司

問 市営住宅入居者からの手すりの設置や家賃減免の要請についてどのように対応しようと考えているのか。

答 手すりの設置については、入居者からの要望や新規入居申込み時に手すりの有無を確認されるなど、階段昇降時の補助としてニーズが高まっていることから今後外壁改修などとあわせ計画的に設置していきたいと考えています。また減免制度については、低所得かどうかの判定基準額が実施自治体でもバラツキがあることから、今後他団体の基準額の状況等を注視しつつ研究していきたいと考えています。

問 市民から、骨壺の持ち込みはできず火葬場で購入するよう葬儀業者に言われたことや、火葬の際に待合室での臭いに気分を害したという手紙をいただいたが。まずは火葬施設の使用に関し気分を害された市民の方々におわび申し上げます。火葬場の使用に際

し施設使用者や葬儀業者が骨壺を持ち込むことに何の問題もありません。また火葬の際の待合室での臭いについては、焼却室入口の扉を確実に閉め、焼却室の換気を行なうとともに、待合室の換気についても留意するよう注意しているところです。

問 市として現在ごみ収集車に「第九」のステッカーを張ってPRしていることから、指定ゴミ袋にも世界遺産や「第九」100周年のPRを載せてはどうか。

答 指定ゴミ袋への印刷については分別や減量を啓発するものと異なり、市民の機運の醸成やイメージアップを図ることを目的とした内容であることをから、関係機関との協議を行いPR効果について検討していきました。



収集車で「第九」をPR

次の定例会の開催予定

平成28年第2回定例会は、6月6日から6月24日までの19日間の予定です。

6月6日(月)	第2回定例会 開会	イケ
	予算決算委員会	イ
7日(火)	一般質問通告締切	
13日(月)	一般質問(会派代表質問)	イケ
14日(火)	一般質問(個人質問)	イケ
15日(水)	一般質問(個人質問)	イケ
	予算決算委員会	イ
16日(木)	総務文教委員会	イ
17日(金)	生活福祉委員会	イ
20日(月)	産業建設委員会	イ
23日(木)	議会運営委員会・全員協議会	
24日(金)	第2回定例会 閉会	イケ

□ インターネットで中継・録画配信
□ ケーブルテレビで中継・録画放送

お知らせ

鳴門市議会の議会映像が
6月1日より
スマートフォンでご覧いただけます

6月1日以前の映像はご覧いただけません
ご了承ください

政務活動費の収支報告書の内容を
本年度よりWebサイトで
公開予定です

公開は8月を予定しています



「なると第九」が2018年6月1日アジア初演100周年を迎えます
鳴門市議会は関連行事の開催を応援し、協力しています
市民の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします



■市の予算の使い道について議論しました■

8日間にわたり、予算決算委員会および各分科会を開催し、平成28年度予算・平成27年度補正予算に関する22議案について審査しました。

委員会での審査の中で出た意見・要望やそれに対する答え、説明を抜粋しました。
 (●説明・答え ★意見・要望 ■質疑)

教育 文化

【子ども・子育て】

- 病児・病後児保育事業補助金の内容は。
- 児童が保育中に体調不良となった場合に安心かつ安全な体制を確保するため看護師等を配置するための補助金であり、私立3保育所に交付している。

★病児・病後児保育をしてくれる保育所に子どもを通わせたいが定員や距離的な問題で出来ない保護者もいることから市としても、多くの保育所が病児・病後児保育に対応出来るよう努める必要があるのでは。

■放課後児童クラブの運営委託料について、事業費が昨年度と比較して約1,700万円増加した理由については。

- 低学年の利用人数は平成26年度は502人、平成27年度は514人、平成28年度は現在入所申し込みがあった方から推計すると587人と大幅に増えており、高学年では平成26年度は57人、平成27年度は71人、平成28年度は74人となっている。全体的に保護者の就労の多様化によって、低学年の児童数が増えてきているため。
- ★施設整備は大切であるが、指導する方の確保も大切であり、本市には鳴門教育大学という将来、子どもたちを教える立場になる人材を養成する学校があることからも、市として児童クラブなど、子どもを育成する場に、鳴門教育大学の学生が参加できるよう検討してほしい。



福祉 健康

【福 祉】

- 平成28年度の人間ドック・脳ドックの受診定員については。
- 平成28年度の定員は、人間ドックが360名を予定しており、脳

ドックは90名で、昨年度と同様で受診病院については市内2カ所であり、脳ドックの抽選方法については平成27年度から、各種がん検診を受診した方を優先的に受診できるよう取り扱っており、がん検診受診率の向上や、健康増進を促すためのインセンティブになると考えている。

- 後発医薬品利用差額通知業務の内容及びその効果額は。
- 後発医薬品の利用による効果測定



【教育・文化】

- 小中一貫教育について、どういった形で進めていくのか。

●瀬戸中学校において小中一貫教育を進めていく取り組みをしており、学校関係者で推進委員会を設置し、方向性について検討している。3ヵ年を目安として小中一貫教育のある一定の形をつくるべきだと考えている。

- 英語能力判定テスト実施業務についての現況は。
- 中学校卒業時に英検3級程度の実力を持つ者の割合6割を目指として掲げており、当該テストについては、市内全中学生を対象として11月ごろに実施し、英語検定を受験した場合に何級程度に該当するのかあるいは、得意分野・不得意分野を把握できるため、英語の学力アップの手段となっている。

★中学校卒業時の英語検定3級程度取得者の割合6割はあくまで通過点であり、いかに児童にやる気を出させるかが大事なのではないか。

- 福永家住宅保存活用検討委員会の内容は。
- 検討委員会の委員から入浜式塩田の復元についての意見があり、今後も復元に向けて検討委員会で協議していく。
- 板東俘虜収容所跡文化庁指導旅費の内容は。
- 平成27年度、28年度で土地の境界確認をするため、その申請に向けた指定範囲の検討のほか、申請事務などに関する指導や助言を得るための文化庁職員の来訪のための旅費である。

額は年間で約2,500万円程度であり、後発医薬品利用差額通知による費用約500万円を差し引くと、2,000万円程度、国保財政の健全化に寄与している。

★後発医薬品の利用を促すようさらなる普及啓発をおこない国保財政の健全化に努めるべきでは。

- 地域バスにおける高齢者のバス優待券の利用については。
- 地域バスについては戦略企画課が委託運行しているが、高齢者無料バス優待券があれば無料で乗ることが出来る。
- ★バスは市民の足として必要だが、高齢者無料バス優待券を所持していても利用することが不便な状態では意味をなさないので、一度、実態調査を行い路線や運行ダイヤ等について分析をする必要があるのでは。

次ページへつづく

【健 康】

- 母子保健型包括支援センターに関して市として出産する年齢が高い方への支援は。
- ハイリスク妊婦については妊娠届が出された時点で相談しながら対応をしており、ネウボラ開設以降では、重篤な相談は受けていないが、子どもが生まれてからの不安、出産の不安などの相談は受けており、1回の相談で終わるのではなく、様子を見聞きしながら、長期の視点で寄り添っている。
- 地域医療連携強化事業に関して制定を予定している条例の内容は。
- 市民が安心できる地域医療を守るこ



暮らしを守る

【防災・災害】

- ため池ハザードマップの作成にあたり、ため池の認知度には個人差があるため、どのように周知していくのか。
- ウェブサイトや広報紙、住民説明会、自主防災会での説明などにより周知を図りたい。
- ハザードマップを見ることができない視覚障害のある方への対応は。
- 来年度から社会福祉課での読み上げ機能など、法律の改正にあわせて対応を進めており、今後の課題については福祉部門と協議しながら情報提供に努めたい。



【消 防】

- すべての消防団詰所を整備するにはどれくらいの期間を想定しているのか。

市民生活

【環境・衛生】

- し尿処理施設については、平成6年に建設されており、建物の耐震性に関しては問題はないが、設備は老朽化しており、大規模な施設改修を今後検討していくなければならないと考えている。
- ★くみ取り式のトイレは減っていく傾向にあり、大規模な設備の更新については公共下水道の活用も勘案しなければいけないのでは。
- し尿処理施設については、し尿を処理するだけではなく浄化槽汚泥の処理もおこなっており、現時点では、公共下水道を活用した汚泥の処理については終末処理場の能力の問題もあり早急な対応は困難であり県を含めた関係団体との協議を行う必要がある。



とや、市民の健康づくり、医療と介護の連携等を目的として、現在、県が策定を進めている、徳島県地域医療構想等も注視しながら、条例の制定に向けて準備している。

■多くの市民から、鳴門病院の病床数が削減されることを懸念する声をよく聞くが、病床数の削減への対応等を、地域医療連携強化事業に関して制定を予定している条例で明記するのか。

●理念的な条例を想定しており、病床数の削減への対応等を具体的に明記するものではない。

★次の一步を踏み出せるよう方向性を具現化する条例として欲しい。

●平成27年度で46施設中22施設が耐震化済みであり、耐震化率は48%となっている。残る約半数については平成31年度までに整備する予定である。

■消防団詰所の構造について決まっているはあるのか。

●建物の構造については大きな地震などが発生したときも使用でき、人命の安全確保ならびに機能確保ができるものであれば、鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリートのどちらでも問題ないと考えている。

★どちらの構造にするかで2割ほど金額に差が出ることや、それぞれの特徴などを踏まえて協議のもと決定してほしい。

●耐震化については整備基準を設けているが、地域の実情や地域住民の意見、消防団員の意見などを聞きながら協議していきたい。

【道 路】

■5,160万円の予算で市道全体の補修を行えるのか。

●優先順位をつけて行うとともに、長い道路は年次計画を立てて行う等、地元の方と協議しながら補修を行う。

★予算が少額なので補修の要望に応えられるような予算を付けて欲しい。

【広 報】

■議会の映像配信委託料が前年度より増額している要因は。

●議会映像配信について現状では携帯端末での閲覧ができなかったが、スマートフォンやタブレット等の携帯端末でも閲覧できるようにするための費用である。

■広報なると発行経費が、前年度と比べて増加している要因は。

●広報紙の一部をカラー化するなどの改善を図っており、ページ数についても全体として増やす見込みであるため。

観光産業

【観光】

★セールスプロモーション事業費に関して関西圏をターゲットにした、淡路島の魅力的な観光CMが流れているが、鳴門市においても、

CMを流してはどうか。

●テレビのCMについては、鳴門市としても模索したことがあるが、見積もり金額が多額であることから、情報番組や旅行番組に一部補助をすることにより、番組の中で、鳴門市を紹介してもらうのが、効果的なのではないかと考えている。また、淡路島へ来られた観光客を鳴門市まで引き込むための施策としては、昨年度については、花博の会場で鳴門、徳島のPRブースを設けたり、南淡

路と鳴門の周遊ルートをモデルコース化したパンフレットを作成し、関西圏から、もう一つ橋を渡り鳴門に来てもらうという施策を行っているところであり、今後も継続していきたい。



【水産業】

●若手漁業者人材育成事業の内容は鳴門市の45才までの漁業者で構成されている鳴門うしお漁業者青年部に、水産業の振興にかかるイベントの実施を委託するものである。

★漁業については、あまり就業の補助がないので、もっとしっかりとした予算付けを考えいくべきではないか。

■ 議案第41号 権利の放棄についての討論

審査の内容	概要			
賛成討論	【平塚 保二】			
	ボートレース事業の円滑な運営のため鳴門町漁業協同組合と新鳴門漁業協同組合に支出されていた地元対策費の公有水面使用協力費について、2月26日に最高裁判所において支出については違法との判決が確定したことを受け総合的に判断した結果、2漁協への協力費の返還請求権及びそれに伴う不真正連帯債務である企業局長への損害賠償請求権を放棄するものである。			
反対討論	【叶井 克典】			
	債権放棄の判断として、①本市の水産業振興に悪影響の懸念②違法とされた財務会計の是正③責任の所在を明らかにし、関係職員の処分④住民訴訟の意義の達成⑤ボートレース事業で収益を向上させ市民に還元できるように努力すること、これら5点を総合的に判断して、議会の裁量権の逸脱や議決権の濫用に該当しないと判断し議案に賛成したい。			
反対討論	【上田 公司】			
	自治体は法令順守に加え倫理面でも高い意識が求められることから、最高裁の判決に従い手続きを進めることが当然である。また、権利放棄の理由となるべき2漁協の財務状況を調査もせず、大きな打撃の根拠となる具体的な調査・検討の説明もなく、協力費が違法とされた「かかる調査・検討を行わなかった」という理由と同じ過ちを市も議会も繰り返すことになる。			
【園山 俊作】				
予算決算を認めて来た議会としても、司法の判断を真摯に受け止めなければならないが、行政としては今回の事案の事情、環境を鑑みて何が一番よいのか総合的に判断しなければならない。漁協や個人が私利を得ようとする故意や重過失があったものではなく、現在は、協力費の支出をやめ、違法とされた財務会計行為を是正している。また、競艇事業からの900億円を超える繰入により多くの市民が恩恵に浴して来たことは漁協の協力によるところが大きい。				
【潮崎 健及】				
鳴門市企業局は鳴門町漁業協同組合と新鳴門漁業協同組合に対し違法に多額の協力費を交付していた。この違法性にいち早く気がついた私は、住民訴訟をおこし、鳴門市企業局は敗訴した。しかし、泉理彦市長は市議会に、2漁協への違法な支出である協力費の返還請求を行う権利を放棄する議案を提出したことに反対したい。				

記名投票の結果

議決結果		佐藤 純子	浜 盛幸	秋岡 芳郎	上田 公司	園山 俊作	平塚 保二	山根 巖	潮崎 健及	林 勝義	谷崎 徹	野田 粋之	松浦 富子	川田 達司	叶井 克典	宅川 靖次	橋本 国勝	東谷 伸治	藤田 茂男	三津 良裕	宮崎 光明	大石 美智子	東 正昇	
原案可決	賛成	○			○	○	○		○	○		○	欠席	○			○	○	○	○	○	○	○	議長
原案可決	反対	○		○	○				○			○		出席	○	○				○		○	○	

※議長は、地方自治法第116条(表決)第2項により、議員として議決に加わることはできません。

市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんのが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。

本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファックス・Eメールでおよせください。

募集中



- ① 議会だより紙面について（感想、ご要望など）
- ② 議会のしきみや専門用語についての質問
文の様式は問いませんが、300字以内とします。
- ③ 鳴門市で直近3ヶ月以内に撮影した写真
カラープリントで、できれば鳴門市ならではのもの、季節感のあるものでお願いします。

※ 内容等についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をご明記してください。
(紙面には年齢・性別ののみ掲載させていただきます。)

※ 紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。

※ 投稿していただいたものは返却できません。

※ 写真は表紙に掲載させていただきますが、編集の過程でトリミング等の加工をすることがありますのでご了承ください。

宛先 鳴門市議会事務局

〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
☎ (088) 684-1234 / ☎ (088) 684-0814
✉ gikai@city.naruto.lg.jp

…市民の皆さんのご応募をお待ちしております…



～編集を終えて～

衣替えの季節ですね。

最近、暑くなるのが早いので5月でも汗がびっしょりです。

鳴門市では一足早く5月2日よりクールビズを実施しています。

6月定例会から議員・職員もノーネクタイでの審議・説明をしていますので傍聴にお見えになる方も是非、クールビズでお越しください。

これから益々暑くなりますがご自愛のほどを。

選挙の有無に関わらず、議員が選挙区内の人に寄附を行うことは、一切禁止されています。有権者が求めてもいいません。冠婚葬祭における贈答なども寄附になるので、注意してください。

議員が選挙区内にある者に年賀状や暑中見舞状などの時候のあいさつを出すのは、原則禁止されています。

《議会広報委員会》

委員長：秋岡 芳郎

副委員長：圃山 俊作

委員：佐藤 絹子・浜 盛幸・山根 嶽
潮崎 煙及・川田 達司・東谷 伸治

議会活動(平成28年3～5月)

3月

- 1日 産業建設委員会
- 2日 予算決算委員会全体質疑
- 3日 予算決算委員会全体質疑
- 4日 予算決算委員会第1分科会
- 5日 消防団詰所落成式(堀江南・桧分団)
- 7日 予算決算委員会第2分科会
- 8日 予算決算委員会第3分科会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 議会広報委員会
- 14日 予算決算委員会
- 15日 産業建設委員会
- 15日 議会運営委員会
- 15日 全員協議会
- 15日 議会運営委員会
- 16日 第1回定期会閉会
- 17日 消費者庁長官面談(徳島市)
- 18日 旧鳥居記念博物館リニューアルオープニング式
- 20日 阿南市合併10周年記念式典
- 22日 市シルバ一大学校卒業式
- 23日 市川市(千葉)議会行政視察来庁
- 27日 鳴門市吟剣詩舞道大会
- 29日 議会広報委員会
- 30日 平草配水池竣工式

4月

- 4日 第1回臨時会日程協議
国際交流員離任挨拶
- 6日 市モータボート競走場営業審査委員会
- 7日 議会運営委員会
- 7日 市内新規就職者激励大会
- 8日 徳島県市議会議長会定期総会
- 11日 黄色い帽子贈呈式(堀江南小)
- 12日 黄色い帽子贈呈式(堀江南幼)
- 12日 市表彰審査委員会
- 13日 議会広報委員会
- 14日 第1回臨時会開会
- 14日 損害賠償請求権等放棄審査特別委員会
- 15日 国際交流員着任挨拶
- 15日 損害賠償請求権等放棄審査特別委員会
- 17日 ソーテーウォーク出発式
- 17日 市消防フェア
- 17日 撫養港海岸整備事業完成式
- 18日 議会運営委員会
- 18日 全員協議会
- 19日 第1回臨時会閉会
- 19日 議会広報委員会
- 24日 市身体障害者連合会総会
- 26日 四国市議会議長会定期総会(愛媛)
- 27日 BR鳴門新スタンド内覧会・レセプション
- 28日 BR鳴門新スタンドオープン記念式典
- 29日 市子どものまちづくり推進協議会総会
- 30日 市保育協議会定期総会

5月

- 2日 議会広報委員会
- 7日 市戦没者追悼式
- 9日 市婦人連合会総会
- 12日 瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会定期総会
- 13日 四国地区都市監査委員会総会
- 13日 市幼小中PTA連合会総会
- 15日 うず潮身体障がい者会総会
- 15日 市制施行69周年記念表彰式
- 16日 全国競艇主催地議会協議会正副会長会議
- 17日 市老人クラブ連合会総会
- 18日 東温市議会(愛媛)行政視察来庁
- 20日 第2回定期会日程協議
- 20日 大麻町商工会通常総会
- 24日 市民生委員児童委員協議会総会
- 25日 チャレンジデー2016
- 25日 張家界市訪問団市議会訪問
- 26日 静岡市議会(静岡)行政視察来庁
- 27日 シルバー人材センター定期総会
- 27日 市防犯協議会総会
- 28日 徳島環状道路建設促進期成同盟会総会
- 30日 市環境衛生組合連合会総会
- 30日 議会運営委員会
- 31日 全国市議会議長会定期総会(東京)
- 31日 議会だより配布